

| | | | | | | | |
|------|------------|------|----|------|------|------|------|
| 科目名 | 高齢社会研究 [院] | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 伊東 真理子 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 1, 2 | 授業番号 | 8007 |

●授業のテーマ

超少子高齢社会における光と影

●到達目標

超少子高齢社会における問題を、個人的問題と社会的問題に大きく2つに分類、理解し、この領域の研究ができるようになる。

●学習内容(授業概要)

わが国の高齢化現象に伴う社会的かつ経済的課題の重要性を認識し、この課題に何らかの方策を見出す為の理解を深め、政策の動行を分析する。

その上で、この高齢社会問題を、個別的ミクロ的側面とマクロ的側面の両面から深化させることに取り組む。

●学習内容(授業計画)

1. 導入 超高齢社会研究で学ぶこと
2. テキスト 第1部 第1章のレポート発表とディスカッション
3. " 第2章のレポート発表とディスカッション
4. " 第3、4、5章のレポート発表とディスカッション
5. " 第6、7、8章のレポート発表とディスカッション
6. テキスト 第2部 第1章のレポート発表とディスカッション
7. " 第2章のレポート発表とディスカッション
8. " 第3、4章のレポート発表とディスカッション
9. テキスト 第3部 第1章のレポート発表とディスカッション
10. " 第2章のレポート発表とディスカッション
11. " 第3章のレポート発表とディスカッション
12. " 第4章のレポート発表とディスカッション
13. " 第5章のレポート発表とディスカッション
14. " 第6章のレポート発表とディスカッション
15. まとめとサクセスフル・エイジング

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：毎回の授業で取り上げた内容の要旨をまとめた上で、自己の考えも整理しておくこと。

事後学習：授業前段階とその後の自らの考えの変化と獲得した点をまとめる。

●成績評価方法・基準

毎回のレポート30% (まとめと感想)、学期末レポート70%

●テキスト(必携)

≪No.1≫書籍名：『高齢社会福祉政策の研究』、著者名：伊東 真理子、出版社：黎明書房、販売先：個人研究室

●参考文献/その他

授業時に指示

●履修上の注意

履修する院生は、一章毎に読み込んで、要点をまとめ、この課題の現状と問題点について討議できるように。